

# 豊見城市的給与・定員管理等の状況について（令和2年度版）

## 1 総括

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (令和2年1月1日現在)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 30年度の人件費率
				千円	千円	%
元年度	人	64,953	27,140,824	404,375	3,167,000	11.7
						11.6

### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

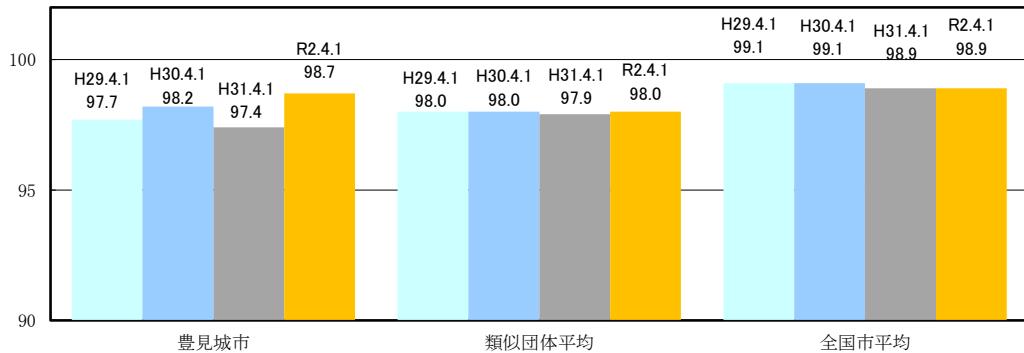
区分	職員数 A	給与費				1人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 1人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
元年度	人	1,263,832	251,865	512,403	2,028,100	5,268	6,000

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は平成31年4月1日現在の人数である。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

### (3) ラスパイレス指数の状況



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 () 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

（補正前のラスパイレス指数×（1+当該団体の地域手当支給率）／（1+国の指定基準に基づく地域手当支給率）により算出。）

3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

※令和2年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、

③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

管理職を含む5級以上の職員数の増加により、ラスパイレス指数が上昇している。  
今後は管理職を含む5級以上の職員の割合を抑制することにより、改善を図る。

(4) 給与改定の状況

①月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A-B	勧告 (改定率)		
元年度	円 —	円 —	円 (—)%	% —	% 0.09	% 0.09

(注)「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

※本市は人事委員会を設置していないため、勧告欄記載なし

②特別給（期末・勤勉手当）

区分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A	公務員の 支給月数 B	較差 A-B	勧告 (改定月数)		
元年度	月 —	月 —	月 —	月 —	月 4.45	月 4.45

(注)「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況

【概要】国給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[ 実施 未実施 ]

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容)一般行政職の給料表については、国の見直し内容を踏まえ、平均1.1%引下げ、若年層については、据え置く。

高齢層については、最大で4%程度の引下げ。

激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

②地域手当の見直し

対象地域ではない。

③その他の見直し内容

—

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(令和2年4月1日現在)

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
豊見城市	38.6歳	285,100円	335,533円	317,747円
沖縄県	40.8歳	311,021円	374,312円	342,207円
国	43.2歳	327,564円	—円	408,868円
類似団体	42.3歳	316,603円	377,272円	346,633円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)	
豊見城市	一歳	一人	一円	一円	一円	—	—	—	—
うち学校給食調理員	一歳	一人	一円	一円	一円	—	—	—	—
うち保育所調理人	一歳	一人	一円	一円	一円	—	—	—	—
沖縄県	55.5歳	218人	348,993円	399,840円	376,924円	—	—	—	—
国	50.9歳	2,319人	287,283円	—	328,862円	—	—	—	—
類似団体	51.9歳	22人	312,578円	339,824円	328,606円	—	—	—	—

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
豊見城市	一円	一円	—
うち学校給食調理員	一円	一円	—
うち保育所調理人	一円	一円	—

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している（平成29年～令和元年の3ヶ年平均）。

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和2年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース（=時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（令和2年4月1日現在）

区分	豊見城市	沖縄県	国
一般行政職	大学卒 182,200円	182,200円	182,200円
	高校卒 150,600円	150,600円	150,600円
技能労務職	高校卒 147,900円	147,900円	—
	中学卒 139,900円	139,900円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和2年4月1日現在）

区分	経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒 258,400円	355,400円	391,200円	400,300円
	高校卒 224,600円	319,700円	364,900円	402,400円
技能労務職	高校卒 —	—	—	—

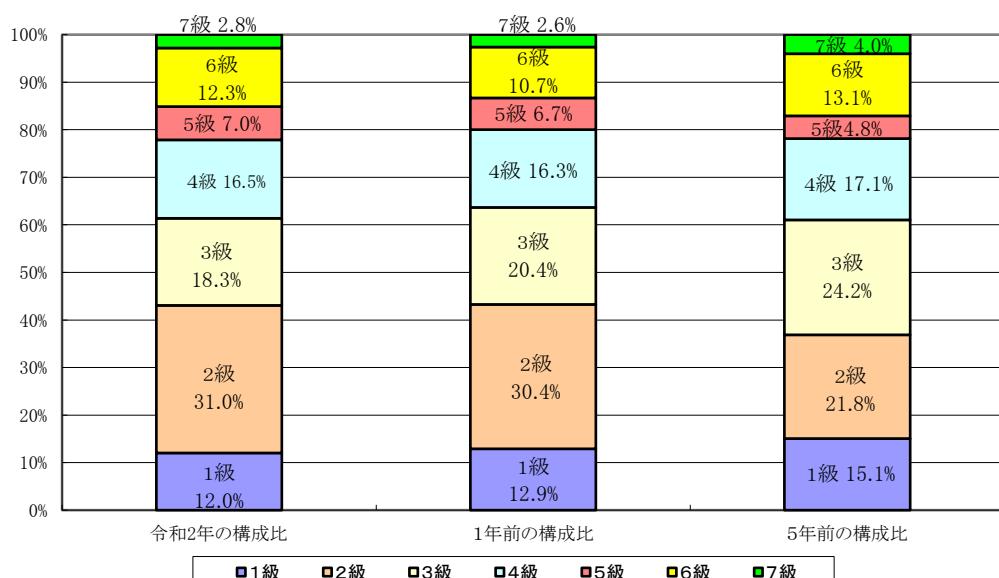
### 3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和2年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の 給料月額	最高号給の 給料月額
1級	1 主事の職務又はこれに相当する職務 2 消防士の職務	34人	12.0%	146,100円	247,600円
2級	1 主任主事の職務又はこれに相当する職務 2 消防副士長の職務	88人	31.0%	195,500円	304,200円
3級	1 主査の職務又はこれに相当する職務 2 消防士長の職務	52人	18.3%	231,500円	350,000円
4級	1 班長若しくは主幹の職務又はこれらに相当する職務 2 消防司令補の職務	47人	16.5%	264,200円	381,000円
5級	1 困難な業務を処理する班長若しくは副参事の職務又はこれらに相当する職務 2 困難な業務を処理する消防司令補の職務	20人	7.0%	289,700円	393,000円
6級	1 課長若しくは参事の職務又はこれらに相当する職務 2 消防司令の職務	35人	12.3%	319,200円	410,200円
7級	1 部長若しくは参事監の職務又はこれらに相当する職務 2 消防司令長の職務	8人	2.8%	362,900円	444,900円
計		284人	100%		

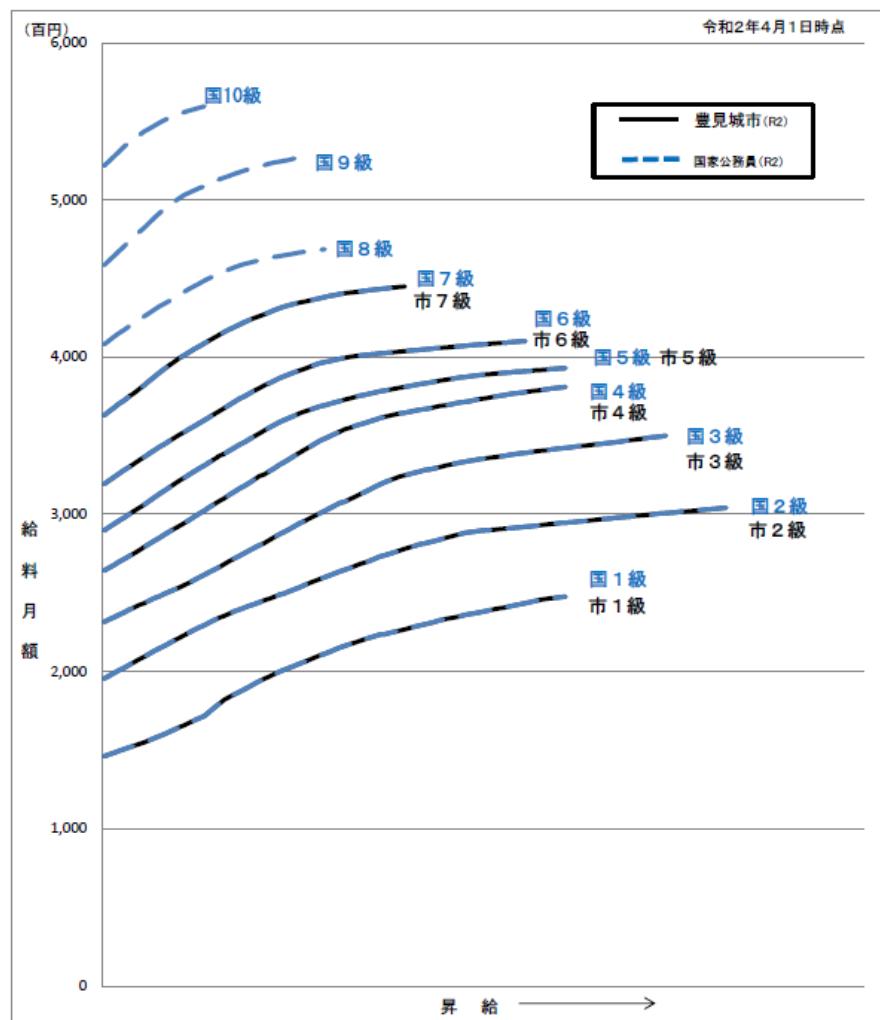
(注) 1 豊見城市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和2年4月1日現在）

### 12-3 国との給料表カーブ比較(行政職(一))



(3) 昇給への人事評価の活用状況（豊見城市）

令和2年4月2日から令和3年4月1日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	
活用している昇給区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分
上位、標準、下位の区分	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
上位、標準の区分		<input checked="" type="radio"/>		
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）				
ロ 人事評価を実施していない				
活用予定期間				

#### 4 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

豊見城市	沖縄県	国
1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,358千円	1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,512千円	1人当たり平均支給額（令和元年度） — 千円
(令和元年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60 月分 1.85 月分 (1.45) 月分 (0.90) 月分	(30年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60 月分 1.85 月分 (1.45) 月分 (0.90) 月分	(30年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60 月分 1.90 月分 (1.45) 月分 (0.90) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 有（職務の級により5~15%の加算）	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5~20%まで 管理職加算10%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5~20%まで 管理職加算10~25%まで

(注) ( ) 内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### ○勤勉手当への人事評価の活用状況（豊見城市）

令和元年度中における運用	管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○	○
上位、標準の成績率		
標準、下位の成績率		
標準の成績率のみ（一律）		
ロ 人事評価を実施していない		
活用予定期間		

##### (2) 退職手当（令和2年4月1日現在）

豊見城市	国
(支給率) 自己都合 勤奨・定年 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分	(支給率) 自己都合 勤奨・定年 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分
勤続25年 28.0395月分 33.27075月分	勤続25年 28.0395月分 33.27075月分
勤続35年 39.7575月分 47.709月分	勤続35年 39.7575月分 47.709月分
最高限度額 47.709月分 47.709月分	最高限度額 47.709月分 47.709月分
その他の加算措置	その他の加算措置
定年前早期退職特別措置(2%~20%加算)	定年前早期退職特例措置(2%~45%加算)
1人当たり平均支給額 11,606 千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）	3,616 千円			
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	35 千円			
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度）	27.0 %			
手当の種類（手当数）	5種類			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績（30年度決算）	左記職員に対する支給単価
徴税手当	納税課職員、国民健康保険税の徴税を担当する職員	市税の徴収、差押え、滞納処分等に係る業務	920千円	市税徴収 日額200円 滞納差押 1件300円 換価処分 1件400円
風水災事勤務手当	全職員	風水災事において特に勤務を命ぜられたとき	893千円	1時間 700円
消防、救急及び救助業務手当	消防職員	消防、救急及び救助業務に従事したとき	1,803千円	日額 200円
緊急消防援助隊手当	消防職員	緊急消防援助隊として、災害が発生した市町村にて消防の応援又は支援に従事した職員。	—	日額 3,000円
防疫作業手当	生活環境課職員、農林水産課職員	感染症防疫作業及び家畜伝染病防疫作業に従事したとき	—	日額 1,000円
行旅死亡人等取扱手当	社会福祉課	行旅病人又は行旅死亡人を取り扱ったとき	—	1回につき2,000円

(4) 時間外勤務手当

支給実績（令和元年度決算）	73,904 千円
職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	217 千円
支給実績（平成30年度決算）	72,452 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算）	217 千円

(5) その他の手当（令和2年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和元年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和元年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500円 子 10,000円 その他 6,500円 特定期間の加算 5,000円	同じ	—	61,077 千円	282,764 円
住居手当	借家（限度額） 28,000円	同じ	—	58,206 千円	316,337 円
通勤手当	通勤距離が2km以上	同じ	—	8,633 千円	39,601 円
管理職手当	部長・参事監 53,388 円 課長・参事 41,020 円	—	—	22,988 千円	522,455 円
休日勤務手当		同じ	—	19,610 千円	435,778 円

## 5 特別職の報酬等の状況（令和2年4月1日現在）

区分		給料月額等		
給 料	市長	830,000円	(参考)類似団体における最高／最低額	
	副市長	684,000円	1,000,000円／454,500円	
報 酬	議長	442,000円 (一)円	550,000円／347,900円	
	副議長	395,000円 (一)円	500,000円／285,100円	
	議員	371,000円 (一)円	470,000円／268,200円	
期 末 手 当	市長	(令和元年度支給割合) 3.30月分		
	副市長	(令和元年度支給割合) 3.30月分		
	議長 副議長 議員	(算定方式) 830,000円×在職年数×500／100 684,000円×在職年数×300／100	(1期の手当額) 16,600,000円 8,208,000円	(支給時期) 任期毎 任期毎
退 職 手 当	市長	備考		

(注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

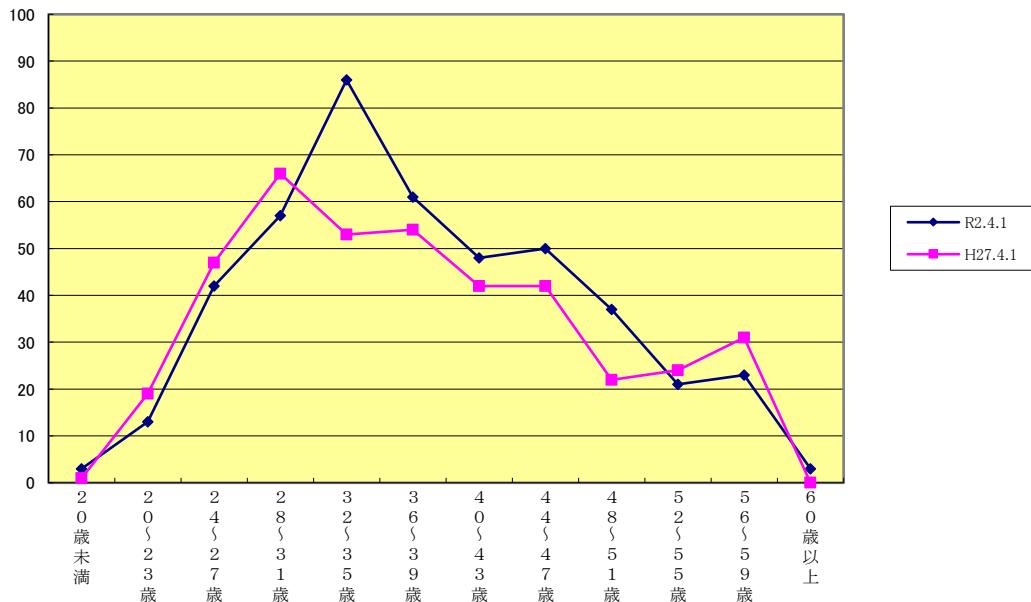
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由 (令和2年4月1日現在)

区分		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
部門	年度	令和 元年度	令和 2年度		
普通会計部門	議会	5	5	0	
	総務企画	79	80	1	広報部門強化による増
	税務	25	24	▲1	体制見直しに伴う減
	民生	101	112	11	特定健診部門強化に伴う増、子ども支援関係業務体制強化による増、保育・こども園体制強化による増等
	衛生	19	13	▲6	母子保健関係が民生関係へ移行に伴う減
	労働	0	1	1	シルバー人材センター強化による増
	農林水産	11	12	1	農業委員会部門強化による増
	商工	6	7	1	観光協会強化による増
	土木	41	43	2	都市計画部門、公園管理部門強化による増
	計	287	297	10	<参考> 人口1万当たりの職員数 45.76人 (類似団体の人口1万当たりの職員数61.67人)
教育部門	41	44	3		教育委員会、公民館・図書館部門強化による増
	57	61	4		消防体制強化による増
	小計	385	402	17	<参考> 人口1万当たりの職員数 61.94人 (類似団体の人口1万当たりの職員数82.72人)
公共企事業会計部門	水道	14	15	1	上下水道部門強化による増
	下水道	9	9	0	
	その他	15	18	3	国保事業部門強化による増
小計		38	42	4	
合計		423 [432]	444 [458]	21 [26]	<参考> 人口1万当たりの職員数 68.41人

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 [ ]内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（令和2年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	3人	13人	42人	57人	86人	61人	48人	50人	37人	21人	23人	3人	444人

(3) 職員の推移

(単位：人・%)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	244	250	251	257	272	279	35(14.3%)
教育	60	61	64	64	56	62	2(3.3%)
消防	58	58	58	58	57	61	3(5.2%)
普通会計計	362	369	373	379	385	402	40(11.0%)
公営企業等会計計	39	39	39	39	38	42	3(7.7%)
総合計	401	408	412	418	423	444	43(10.7%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

## 7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

### ①職員給与費の状況

#### ア 決算

区分	総費用A	純損益又は実質収支	職員給与費B	総費用に占める職員給与費比率B/A	(参考)平成30年度の総費用に占める職員給与費比率
令和元年度	千円 1,298,588	千円 269,556	千円 95,299	% 7.3	% 7.1

区分	職員数A	給与費				(参考) 市町村平均一人当たり給与費	
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B		
令和元年度	18人	千円 68,243	千円 8,046	千円 19,010	千円 95,299	千円 5,294	千円 6,165

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、令和2年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項  
特になし

②職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（令和2年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
豊見城市	44.8歳	315,942円	441,059円
団体平均	44.2歳	339,529円	512,723円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

豊見城市	市町村（一般行政職・団体平均等）
1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,056千円	1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,522千円
(令和元年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60 月分 1.85 月分 (-) 月分 (-) 月分	(令和元年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 — 月分 — 月分 (-) 月分 (-) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置有（職務の級により5～15%の加算）	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置有（職務の級により5～15%の加算）

(注) ( ) 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（令和2年4月1日現在）

豊見城市			市町村（一般行政職・団体平均等）		
(支給率)	自己都合	勧奨・定年	(支給率)	自己都合	勧奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	勤続20年	— 月分	— 月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	勤続25年	— 月分	— 月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分	勤続35年	— 月分	— 月分
最高限度額	47.709月分	47.709月分	最高限度額	— 月分	— 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特別措置(2%～20%加算)			定年前早期退職特例措置		
1人当たり平均支給額	0 千円		1人当たり平均支給額	8,861 千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）	98 千円			
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	20 千円			
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度）	27.8 %			
手当の種類（手当数）	2種類			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績（元年度決算）	左記職員に対する支給単価
風水災事勤務手当	全職員	風水災事において特に勤務を命ぜられたとき	38千円	1時間 700円
水道技術管理者手当	水道技術管理者の勤務を命ぜられた職員	水道技術管理者の勤務を命ぜられたとき	60千円	月額 5,000円

エ 時間外勤務手当

支給実績（令和元年度決算）	856 千円
職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	57 千円
支給実績（平成30年度決算）	1,550 千円
支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算）	129 千円

才 その他の手当（令和2年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政 職の制度 との異同	一般行政 職の制度 と異なる内容	支給実績 (元年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (元年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500円 子 10,000円 その他 6,500円 特定期間の加算 5,000円	同じ	—	2,886千円	160,333 円
住居手当	借家（限度額） 28,000円	同じ	—	2,184 千円	121,333 円
通勤手当	通勤距離が2km以上	同じ	—	360 千円	19,980 円
管理職手当	部長 53,388円 課長 41,020円	—	—	1,625 千円	541,712 円

(2) 下水道事業

①職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成30年度の総費用に占 める職員給与費比率
令和 元年度	千円 926,930	千円 47,406	千円 25,948	% 2.7	% —

区分	職員数 A	給 与 費				(参考) 市町村平均一人当 たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
令和 元年度	5人	千円 16,429	千円 5,145	千円 4,374	千円 25,948	千円 5,189 6,134

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、令和2年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

特になし

②職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（令和2年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
豊見城市	38.7歳	273,810円	419,873円
団体平均	43.0歳	337,655円	510,496円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

豊見城市	市町村（一般行政職・団体平均等）
1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,310千円	1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,519千円
(令和元年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60 月分 1.85 月分 (-) 月分 (-) 月分	(令和元年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 — 月分 — 月分 (-) 月分 (-) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 有（職務の級により5~15%の加算）	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置

(注) ( ) 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（令和2年4月1日現在）

豊見城市			市町村（一般行政職・団体平均等）		
(支給率)	自己都合	勧奨・定年	(支給率)	自己都合	勧奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	勤続20年	一月分	一月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	勤続25年	一月分	一月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分	勤続35年	一月分	一月分
最高限度額	47.709月分	47.709月分	最高限度額	一月分	一月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特別措置(2%~20%加算)			定年前早期退職特例措置		
1人当たり平均支給額	0千円		1人当たり平均支給額	6,926千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）	25千円			
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	5千円			
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度）	100%			
手当の種類（手当数）	2種類			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績（元年度決算）	左記職員に対する支給単価
風水災事勤務手当	全職員	風水災事において特に勤務を命ぜられたとき	26千円	1時間 700円

エ 時間外勤務手当

支給実績（令和元年度決算）	312千円
職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	62千円
支給実績（平成30年度決算）	一 千円
支給職員1人当たり平均支給年額（30年度決算）	一 千円

オ その他の手当（令和2年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績（元年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額（元年度決算）
扶養手当	配偶者 6,500円 子 10,000円 その他 6,500円 特定期間の加算 5,000円	同じ	一	1,236千円	247,200円
住居手当	借家（限度額） 28,000円	同じ	一	552千円	110,400円
通勤手当	通勤距離が2km以上	同じ	一	74千円	14,880円
管理職手当	部長 53,388円 課長 41,020円	一	一	0千円	0円